



★日鉄住金テクノロジー(株)より、
メールマガジン【第46号】を
お届けいたします。

★はじめに。
(猛)暑中お見舞い申し上げます。

京都では、今日から「六道まいり」が始まります。
お盆に帰って来られる御魂(精霊)を迎える行事です。
16日の「五山の送り火」(=大文字)までの盂蘭盆の期間は、
毎日お供えするお菓子も変えて、先祖の霊を祀ります。

六道珍皇寺には、冥界との往来ができる(と伝えられて
いる)井戸もあります。
<http://www.rokudou.jp/legend/>
京都のおもしろさは、半端じゃありません。

SAKODA



[1] 対外発表のご紹介~こんなこと、やっています。



- ☆「溶融亜鉛めっき皮膜表面に生成した極薄 Al 酸化層の電子線照射損傷評価」
日本学術振興会、(2015.5)
- ☆「金属腐食のメカニズムと耐食性評価方法予防・腐食対策」
(株)経営開発センター 技術セミナー、(2015.5)
- ☆「二段定電位法によるすきま腐食進展性の検討その2-保持時間の影響」
腐食防食学会 材料と環境 2015、(2015.5)
- ☆「各種表面処理材に対する変動荷重の疲労寿命への影響調査」
日本材料学会 第64期学術講演会、(2015.5)
- ☆「中性子回折による鋼の変態集合組織形成機構の検討」
日本鉄鋼協会 「小型中性子源による鉄鋼組織解析法」研究会1、(2015.6)



[2] NSS T業務紹介
~「ボタン溶解(小型アーク溶解)のご紹介」



ボタン溶解は、非消耗式タングステン電極を用いて、アルゴンガス中でプラズマを作り、電子を加熱源としてアーク熱により、モールド内の金属を溶解します。

ボタン溶解では、高融点金属の溶解が比較的容易であり、るつぽからの汚染の影響が無く、多品種・小ロットの試験片を、一度に溶製可能である・・・などのメリットがあるため、新合金の研究開発や試作に利用されています。

今回は、ボタン溶解のモールドの種類や溶製手順等について、ご紹介します。詳細は、下記HPをご覧ください。

http://www.nsst.nssmc.com/tsushin/pdf/2015/88_1s.pdf



[3] 身近な金属のマイクロ組織～「複層鋼板」



複層鋼板は、異なる組成や組織を持つ鋼と鋼を積層して圧延で製造するもので、単体のモノリシックな鉄鋼材料では達成できない特性や性能の実現を目指すものです。

高い強度と延性とを両立するための設計指針や、実用化に向けた課題について、東京大学の小関敏彦副学長に解説していただきました。詳細は、下記HPをご覧ください。

http://www.nsst.nssmc.com/tsushin/pdf/2015/88_2s.pdf